

この2冊、蔵書に加えてください。お願いします。



新刊 2022年12月刊 紀行文・ロシア・写真・鉄道

『シベリア鉄道 三度目の正直』

中野吉宏著 A5判 192ページ フルカラー 2200円(税込) ISBN978-4-9900645-7-0

1982年、2000年、2016年、シベリア鉄道による大陸横断。ソビエトからロシアへの変化。定点観察。旅先での不思議な出会いと30年を越える交流。写真も満載。国家と国民を同一視してはいけません。今だからこそ知ってもらいたい素顔のロシア。

児童文学作家 岡田淳 評 世界は圧倒的に「ふつうの人々」でできていて、しかも「ふつうの人」なんてどこにもいないわけですが、この本に出てくる全員が(それぞれ特別な)「ふつうの人々」なんですね。なんて良い人ばかりなのだろう。「政治の人」が「ふつうの人々」の幸せを奪うのかなあ、という気がしてきました。

必備

『徴兵体験 百人百話』

既刊書 2015年8月刊 阪野吉平 聞き書き B6判 256ページ ISBN978-4-9900645-6-3

全国図書館協会選定図書 学校図書館協議会選定図書 1650円(税込)

あの時代に大学に進めるような恵まれた環境の人から、小作・奉公人という今からは想像することも難しい生活環境の人まで。110人の徴兵徴用体験談集。著者の積極的な聞き取りがなければ文章として残らなかった体験談が多いのが本書最大の特徴。毎日が死と隣り合わせだった人。一度も戦闘になったことがない人。食うには困らなかった人。排泄物まで洗って食った人。軍隊生活が楽だったという人。軍隊よりシベリア抑留の方が楽だったという人。捕虜を度胸試しで殺した人。死刑前日に釈放された人。片足を失った人。病気で兵役を免れた人。徴兵検査丁種の人。終戦を知って泣く人、喜ぶ人。昭和17年に兵隊になり日本に帰って来たのは29年という人。今も目に焼き付いていることがあるがそれは話せないという人。そろそろお迎えが来るから話そうという人。難しい戦争記録本ではなく、聞き手の中庸なペン、一話千文字、読みやすい1冊。戦争記録として非常に貴重な証言多数。多くの人に読んで考えてもらいたい1冊です。

17(じゅうなな)出版 神戸市灘区篠原北町3-6

FAX:0120-87-2549 TEL:090-3260-7321 books17@nifty.com

書店 費 用	シベリア鉄道 三度目の正直 中野吉宏 ISBN 978-4-9900645-7-0 2000円+税	冊	ご担当
	徴兵体験 百人百話 阪野吉平 ISBN 978-4-9900645-6-3 1500円+税	冊	